

全てを失った日本、でも、生き残った人々は「明日」を信じた。

1945年ポツダム宣言受諾 → 終戦

徹底的にやられた日本、最後は“何も文句は言いません”という『無条件降伏』だった。

1945年8月15日、昭和天皇の声がラジオから聞こえて来た。

「共同宣言（ポツダム宣言）を受諾する、、、」

日本中に空襲が行われ、沖縄では住民を巻き込んだ戦闘が行われ、広島長崎には原子爆弾が投下された。この状況下でもまだ戦争を続けようとする軍部。そんな中だった。天皇主権とは言いながら、明治以降政治を政府に任せて来た昭和天皇がついに動いた！

1945年8月15日。ラジオから昭和天皇の声が流れて来た。

「堪えがたきを堪え、忍びがたきを忍び・・・」

日本は米英中ソが要求するポツダム宣言を “無条件”で受諾した。こうして日本は戦争に負けた。



マッカーサー来日。 GHQの占領が始まる！

日本は連合国の『占領』を受ける事に。
連合国軍最高司令官総司令部（=GHQ）が
日本の戦後をプロデュースしていく事になったんだ！



マッカーサーと昭和天皇

戦争に負けたとはいえ、つい昨日まで戦争していた国をそのままにしておくわけにはいかない。アメリカを中心とした連合国は、日本を「二度と戦争をしない」国にしようと改革を始めて行く。そのリーダーとして日本に来日したのがマッカーサーだ！